

岩手・宮城県際ネットワーク

－ 令和5年12月1日発行 －（担当公所：宮城県気仙沼地方振興事務所）（第180号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	https://www.pref.iwate.jp/kennan/index.html
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/index.html
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所地方振興部	0228-22-2195	https://www.pref.miyagi.jp/site/nh-khsgsin-e/index.html
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部	0220-22-6123	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/
宮城県	気仙沼地方振興事務所地方振興部	0226-24-2593	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

圏域情報

◆◆◆◆ 宮城県 気仙沼地方振興事務所 ◆◆◆◆

みやぎ地域づくり団体協議会研修会が開催されました！

令和5年11月17日（金）・18日（土）の2日間、令和5年度みやぎ地域づくり団体協議会研修会が開催されました。

県内の地域づくり団体や地域で活躍されている皆さんが一堂に会し、「みやぎの自然を100年後の未来につなぐために」というサブテーマのもと地域づくりについて考えを深める時間となりました。

研修会では当支部副会長の南三陸 YES 工房大森代表の講話のほか、（一社）サステナビリティセンターの太齋代表理事とコーディネーターに、当支部長の気仙沼大川桜並木を保全する会橋本代表のほか、各支部会員の皆様によるパネルディスカッションで地域づくり活動のこれからについて熱い議論が交わされました。



今回は気仙沼・本吉地域により親しんでいたただき、皆様の交流を深めていただけるよう「南三陸 311 メモリアル」ラーニングプログラム等のサブプログラムも設けられました。



今後も県内の地域づくり団体の皆さんの交流を深めながら、地域づくり活動の活性化を目指して取り組んでいきます。

■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会気仙沼・本吉支部事務局（宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部商工・振興班）

TEL：0226-24-2593

E-mail：kstssss@pref.miyagi.lg.jp

全国から一関市に熱気球が大集合&県職員がYouTuberに！？

■一関・平泉バルーンフェスティバルに参加したケロ！

10月13日（金）から15日（日）まで一関市で開催された「2023 熱気球ホンダグランプリ第2戦 一関・平泉バルーンフェスティバル2023」（以下、バルーンフェスティバル）が一関市を会場として開催されました。



バルーンフェスティバルでは30機の熱気球競技飛行のほか、一般の方向けに係留体験搭乗や熱気球自体が灯となる「バルーンイリュージョン」も行われました。会場では、気球



が青空に向かって一斉に飛び立つ圧巻の光景に大勢の観客が魅了されていました。

なお、大会2日目の14日（土）には、平泉世界遺産PRキャラクター

「ケロ平」が平泉町のキャラクターでお友達の「きよひらくん」とともに会場に駆けつけ大会を盛り上げました。

ケロ平は「普段は見られない熱気球を間近で見たり、みんなと触れ合ったりと、とっても楽しい時間だったケロ！」と大満足でした。

■“県職員 YouTuber” が誕生ケロ！

岩手県では広報活動の一環として、県職員が撮影、出演、編集までを行った動画を制作し、動画サイト「YouTube」で配信する企画を行っています。

今年度、県南広域振興局経営企画部の若手職員（1年目・2年目）が同企画に参加し、チーム名「SUNMARINE」として10月中旬に1本目の動画を公開しました。



最初の企画は9月に一関市で行われた「第29回北上川流域交流Eボート大会」に参加したもので、ちゃっかりケロ平（ぬいぐるみ）も参加しています。

県南局管内の若手職員が参加したEボート大会の「衝撃的な」結末をぜひ、お見逃しなく！

YouTuber「SUNMARINE」から「楽しい動画をお届けできるよう頑張ります！ぜひ見てください！！」とメッセージがありました。今後の活動が楽しみです。

■お問い合わせ先

県南広域振興局経営企画部産業振興室
電話：0198-22-2843

ケロ平 X（旧 Twitter）@kerohira0629

SUNMARINE 動画 URL

<https://www.youtube.com/watch?v=3ujt3Z4uBwY>

「三陸冬色さがしフォト投稿キャンペーン」12月8日(金)から開催！

■ #三陸の赤？ #三陸の白？

岩手県沿岸広域振興局では、冬季の岩手県三陸地域への誘客・周遊を促進するため、「#三陸の赤」、「#三陸の白」の2色に着目したフォト投稿キャンペーンを開催します！

冬の内陸地域は降雪量が多いですが、三陸地域は比較的暖かく、降雪量も少ないので、ドライブに最適です！

抽選で、三陸の宿泊施設の割引券をはじめとした豪華景品が当たりますので、この機会に三陸の冬の魅力を発見、発信してみませんか？

期間：令和5年12月8日（金）から
令和6年2月21日（水）まで！

■ イベントの楽しみ方

- ① X（旧 Twitter）で公式アカウント（@huyuirosagashi）をフォロー！
- ② 対象エリアの道の駅や観光施設等で「#三陸の赤」、「#三陸の白」を探して撮影📷
- ③ Xで「#三陸の赤」または「#三陸の白」と、撮影場所「#〇〇〇〇（道の駅や観光施設等の名称）」の2つのハッシュタグを付けて投稿📢

📅 下記の3回の応募締切ごとに抽選で、三陸の宿泊施設の割引券や三陸の特産品、三陸鉄道のオリジナルグッズなどをプレゼント！（エントリーは③時点で完了しています。）

【応募締切】

- 第1回 令和6年1月4日（木）
第2回 令和6年1月28日（日）
第3回 令和6年2月21日（水）

■ 詳細はこちらからご確認ください！

寒い時期に旬を迎える赤い海の幸。澄んだ空気に映える白の風景など、三陸地域には冬の魅力がいっぱい。さあ、これから「三陸冬色さがし」の旅に出かけてみませんか？三陸地域の冬の魅力を、みんなでシェアして楽しもう！

キャンペーン期間 2023.12.8金 - 2024.2.21水

応募方法

- 1 X（旧 Twitter）公式アカウント「@huyuirosagashi」をフォロー
- 2 対象エリアで、三陸の冬色「#三陸の赤」または「#三陸の白」を探して撮影
- 3 X（旧 Twitter）で、「#三陸の赤」または「#三陸の白」と、撮影場所「#〇〇〇〇（道の駅や観光施設等の名称）」の2つのハッシュタグを付けて投稿

応募締切

第1回	第2回	第3回
2024.1.4 [木]	2024.1.28 [日]	2024.2.21 [水]

抽選で豪華景品が当たるチャンス！

投稿していただいた方の中から抽選で、各回9名様に三陸の豪華景品をプレゼント。当選者にはダイレクトメッセージにてお知らせします。

A賞 1名 宿泊割引券
B賞 1名 旬の海鮮セット
C賞 6名 道の駅セット
三鉄賞 1名 「三陸鉄道」オリジナルグッズ

詳しくは、三陸冬色さがしフォト投稿キャンペーンサイトをご覧ください。
<https://sanriku9.com>

お問い合わせ先 〆 020-0841 岩手県盛岡市羽場 10-1-2 川口印刷工業株式会社内 三陸冬色さがしフォト投稿キャンペーン事務局 mail: info@sanriku9.com

主催：岩手県沿岸広域振興局
※お預かりする個人情報は、本キャンペーンのプレゼント発送・運営管理に利用します。それ以外の用途には利用いたしません。



キャンペーンの最新情報は、
左のQRコードからご確認ください！

■ お問い合わせ先(事務局)

三陸冬色さがしフォト投稿キャンペーン事務局
Email: info@sanriku9.com

米川の水かぶりが開催されます

登米市東和町米川の五日町地区に古くから伝わる火伏せ行事で、毎年2月の初午の日に行われます。

地区の男だけが水かぶりの姿になり行事に参加できます。男たちは裸体の腰と肩にワラで作った「しめなわ」を巻き、「あたま」と「わっか」を頭から被り、足にわらじを履き、顔に火の神様の印である、かまどのすすを塗ります。この水かぶり装束を身につけ、男たちは火の神様に化身します。



水かぶりの一団は、大慈寺境内の秋葉山大権現と諏訪森大慈寺跡に火伏せ祈願をした後、町に繰り出し、家々の前に用意された桶の水を家に掛け火伏せを行います。



男たちが身に着けているわらは引き抜き、火伏せのお守りにすることができます。

また、水かぶりの一団とは別に福をもたらす来訪神、ひょっとこ（火男）とおかめが、家々を訪れ、ご祝儀をいただきます。



ユネスコ無形文化遺産「来訪神：仮面・仮装の神々」に登録された、800年以上続く伝統ある奇祭をご覧ください。

○「来訪神：仮面・仮装の神々」

仮面や被り物、泥などをまとった「異形の姿」をした者が「来訪神」となり、正月などの年の節目となる日に家々を訪れ、怠け者を戒めたり、家や人々に幸せや福をもたらしたりする行事。

■日時

令和6年2月12日（月・祝）

午前10時30分町内巡行開始

■開催場所

大慈寺山門広場（登米市東和町字町下56）

■お問い合わせ先

登米市東和総合支所市民課

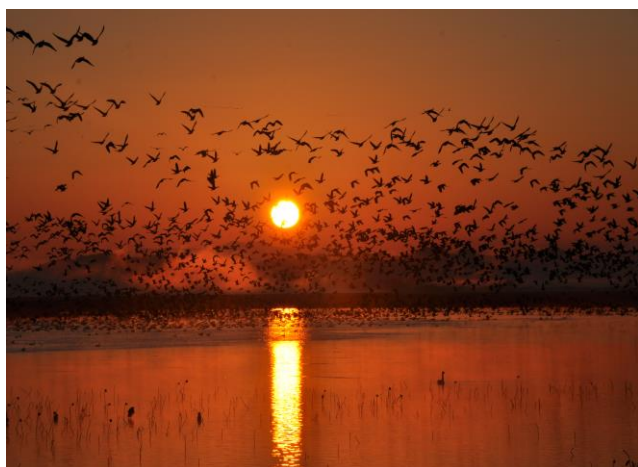
電話：0220-53-4111

伊豆沼・内沼のマガンの飛び立ち

ラムサール条約に登録されている伊豆沼・内沼は、全国有数の渡り鳥の飛来地です。冬になると数多くのガンやハクチョウが渡ってきます。代表的な冬鳥で、国の天然記念物に指定されている数万羽のマガンが、朝日を背景に一齐に飛び立つ瞬間の羽音・鳴き声は迫力があり感動的です。

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターでは、おすすめの観察ポイントや渡り鳥の情報を発信しています。下記HPをご確認の上、感動の瞬間を現地でご体験ください。

[公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 \(izunuma.org\)](http://izunuma.org)



なお、伊豆沼・内沼の周辺の施設、見どころ、体験メニューを紹介している「伊豆沼・内沼周遊ガイドマップ」をサンクチュアリセンター等の市内施設で御用意しております。



「伊豆沼・内沼周遊ガイドマップ」は下記の当所HPからもダウンロードできますので是非御利用ください。

https://www.pref.miyagi.jp/site/nh-khsgrs-in-e/kanko_brochure.html

また、当事務所 Youtube チャンネル「ございんくりはら」では、「くりはらを楽しむ伊豆沼・内沼コース」として、伊豆沼・内沼周辺での1泊2日のモデルコースを紹介していますので、こちらも下記のURLから是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=FvaRzS68Gjc>

■お問い合わせ先

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部

電話:0228-22-2195

E-mail:nh-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp